

今、ハスの花が美しくさいていますよ。植物園や法金剛しょうこんごう院や嵐山あらしやまの天龍寺など、ハスのきれいなお寺はたくさんあります。

ではハスはなぜお寺に多いのでしょうかそれにはちゃんとわけがあります。

そもそもハスは古代インドで、聖なる花とされました。きたないどろをすってきれいに咲くからです。

今から二千五百年も前、仏教が生まれましたが、仏教の教えの中でもハスはすばらしい花とされ、仏ぞうの中にはハスを持つすがたで表現されるものも出てきました。

仏教の考え方では、人は生きているうちにいいことをいっばいすれば、じごくにおちたりせず、ごくらくに生まれかわって楽しくくらせるといのですが、ごくらくにさくのがハスとされました。お寺にたくさんうえられているのはこういうわけなのです。

ところでハスのねっこはおいしいですね。れんこんです。ハスのくきにもれんこんとおなじようにあながあいています。ハスの実は、たいわんなどではおやつとしてふつうに食べられます。ハスののはっぱは、お盆のおそなえをもりつけるときのしきものにつかわれます。表面は水をはじくので、水玉がころがると、見ていて楽しいです。

よくスイレンとハスをまちがえる人がいますが、スイレンは水面すれすれにやや小ぶりの花をつけるのに対し、ハスはけっこう水上に高くのびあがってさくので、それで見分けてください。

じょう文ハスとか大がハスとか言われる品種は約六千年前のタネから芽が出たものなんですよ。すごいですね。音読サイン↓

① 何の話でしょう？

② なぜハスは聖なる花とされるのでしょうか？

③ 仏教はいつごろ生まれたのでしょうか？

④ 地獄におちないようにするにはどうしたらいいですか？

⑤ じごくの反対ことばはなんですか？

⑥ ハスのねっこの正体は？

⑦ ハスの実をふつうに食べるのはどこの人？

⑧ じょう文ハスのタネは何年間ねむっていましたか？

⑨ あっているものに○をつけましょう。

( ) れんこんに水玉がつくところがる。

( ) ハスのくきにも穴があいている。

( ) じごくのにわにはハスが咲いている。

⑩ 上の話のかんそうを五行でまとめましょう。

できばえは？

